

北海道

定 数： 15 名

立候補者数： 22 名



氏名 吉田 俊教

都道府県士会 北海道

年齢 46

勤務先名称 函館整形外科クリニック



氏名 千葉 恒

都道府県士会 北海道

年齢 52

勤務先名称 社会福祉法人北海道社会事業協会
介護老人保健施設ふらの

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成16～19年度 北海道理学療法士会 道南支部 学術局員
 平成20～21年度 北海道理学療法士会 道南支部 社会職能局員
 平成22～30年度 北海道理学療法士会 道南支部 職能部長
 平成22～30年度 北海道理学療法士会 代議員
 平成25～26年度 北海道理学療法士会 地域包括ケアシステム推進
 特別委員会 道南支部担当
 令和1年～2年度 北海道理学療法士会 道南地区理事
 令和3年～現在 北海道理学療法士会 道南地区理事 道南支部長

日本理学療法士協会に入会して24年、北海道理学療法士会の役員を務めさせていただくこと20年、この間、全国に多くの理学療法士が輩出されてまいりました。広大な北海道においては、士会全体の会員数はもとより、私が所属する道南支部の会員数でさえ、県士会レベルに匹敵するほど増加しているところですが、その反面、協会、士会ともに退会者数の増加による職能団体としての組織力低下が危惧されていることも事実です。厳しい医療情勢の我が国において、今後も私たちが安定して社会貢献していくためには、協会、士会ともに、これまで以上に職能団体としての機能が強化される必要があると考えます。まだまだ若輩者ではありますが、これまでの士会役員としての経験をもとに、協会から士会、支部に至るまで、より会員に資する活動が行われるよう、代議員として関わらせていただきたく存じます。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成23年4月～25年3月 北海道理学療法士会 道北支部学術・教育副部長
 平成25年4月～27年3月 北海道理学療法士会 道北支部学術・教育部長
 平成26年6月～31年4月 北海道理学療法士会 道北支部代議員
 平成27年4月～令和3年3月 北海道理学療法士会 道北支部副支部長
 令和元年6月～3年5月 北海道理学療法士会 局付け理事
 令和2年～現在 日本理学療法士協会 代議員
 令和3年6月～現在 北海道理学療法士会 理事 職能局長

第66回北海道理学療法士学術大会（平成27年）準備委員長
 第73回北海道理学療法士学術大会（令和4年）大会長

これまで10年間、北海道理学療法士会道北支部役員として活動して参りました。現在は北海道理学療法士会職能局長として、理学療法士の職域拡大に向けた活動、地域包括ケアシステムの地域格差の軽減、施設管理者ネットワークの有効活用を中心に活動しております。2040年を見据えると、「予防」、「地域」といったキーワードが示すように、我々理学療法士を取り巻く環境は大きく変化しております。その中でも、地域包括ケアシステムにおける理学療法士の立ち位置を確固とするためにも、より地域の現場の実態を把握していることが重要と考えます。これまでの士会活動の経験をいかし、地域の現場目線で協会の更なる発展に寄与したく、立候補させて頂きました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



氏名 福嶋 篤

都道府県士会 北海道

年齢 43

勤務先名称 公益社団法人北海道理学療法士会



氏名 平塚 健太

都道府県士会 北海道

年齢 36

勤務先名称 公益社団法人函館市医師会 函館市医師会看護・リハビリテーション学院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

- 協会・士会役員歴
 - (公社)北海道理学療法士会
 - 2010/04/01～2012/03/31 社会局主体事業部部員
 - 2014/04/01～2015/04/03 教育局職域教育部部員
 - 2014/06/21～2015/04/03 社会局介護予防・健康増進支援部部員
 - (公社)日本理学療法士協会
 - 2021/06/05～2023/06/11 理学療法ハンドブック作成部会部会員
 - 2023/07/10～ 広報媒体検討作業部会部会員
 - その他・(一社)日本予防理学療法学会
 - 2021/8/29～ 理事
 - 2022/4/24～2024/1/29 第10回学術大会渉外部長

●立候補の趣旨
 私は、これまでの理学療法士としての経験と北海道理学療法士会等での活動を通じて、地域の理学療法士の方々と共に歩んできた経験から、この度の代議員選挙に立候補し、協会全体の発展に貢献したいと考えています。
 これまで、北海道理学療法士会や日本理学療法士協会などで活動してまいりました。また、現在は北海道理学療法士会の事務局職員として微力ながら日々の士会活動が滞りなく進むよう努めております。これまでの経験を通じて地域の理学療法士との連携や地域社会への貢献の重要性を痛感しており、また、士会活動を通じて、理学療法士の役割や価値をより多くの方々に理解していただく必要性を感じています。
 私は、これまでの活動歴や経験を生かし、協会の代議員として地域の理学療法士の声を協会に届け、協会の決定や施策を士会に還元する役割を果たしたいと考えています。また、協会と士会の橋渡しとして、両者の連携や協力を促進し、理学療法士の団結や結束を強化したいと思っています。代議員としての責務を果たすことで、協会活動がより多くの理学療法士にとって有益なものとなるよう努めてまいります。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

- [協会・士会役員歴]
 - 令和3年4月～現在 北海道理学療法士会 道南支部 学術・教育部 部員
 - 令和4年10月～現在 日本支援工理学療法学会 評議員
 - 令和4年10月～現在 日本神経理学療法学会 評議員
 - 令和5年4月～現在 日本支援工理学療法学会 ガイドライン作成検討コアメンバー
 - 令和5年4月～現在 日本神経理学療法学会 北海道地方ブロック リーダー
 - 令和6年1月～現在 日本神経理学療法学会 戦略的課題解決委員会 脳卒中歩行障害班
- 第8回 道南理学療法士学術大会(令和5年) 運営委員
- 第30回 全道理学療法士学術研修大会(令和5年) 運営委員
- 日本支援工理学療法学会 第1回公開ミーティング(令和5年) 準備委員
- 第9回 道南理学療法士学術大会(令和5年) 準備委員長

[立候補の趣意]
 この度、代議員に立候補させていただきました平塚健太と申します。
 私はこれまで、臨床教育と学校教育ともに経験をしてまいりました。その中で、臨床現場と教育機関のより密接な連携の必要性を強く感じております。これまでの経験を基に、シームレスな学習機会を提供するための環境作りには貢献していきたいと思っております。
 また、現代社会の急激な変化に伴い、理学療法士が直面する新たな学習ニーズに適應することの重要性を認識しております。時代に即した生涯学習制度を提言し、専門性ならびに多様なスキルの向上と協会の更なる発展に寄与していきたいと考えております。
 皆様のご支援を賜り、日本理学療法士協会の代議員としての新たな役割を果たす機会をいただければ幸いです。



氏名 春名 弘一

都道府県士会 北海道

年齢 46

勤務先名称 北海道科学大学



氏名 阿部 隆宏

都道府県士会 北海道

年齢 43

勤務先名称 北海道大学病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【立候補の趣旨】

公益社団法人日本理学療法士協会の一員として、微力ながらも理学療法士業界の発展に寄与できればとの思いから、代議員選挙へ初めて立候補する決意をいたしました。

理学療法士業界は平均年齢が約34歳と若く、この若い業界を未来へと引き継ぐために、質の高い教育と、継続的な専門性の向上に努める必要があります。私自身、この責務を全うするために、2022年からは一般社団法人日本支援工学理学療法学会の理事としても奉仕してきました。この2年弱の経験から、分科学会理事会の運営体制の成熟のために、日本理学療法学会連合や日本理学療法士協会とのより緊密な連携を進めることが急務であると痛感しております。これらの組織間の強固な連携は、理学療法士の専門性のさらなる向上と、私たちの業界全体の発展に不可欠であると考えております。

また、卒後教育体制に関しては、特に新たに理学療法士となる方々が直面する多様な課題に対応するための支援を拡充する必要性を感じております。卒後教育の充実は、理学療法士としての質の保証だけでなく、社会的要請への対応のあり方にも関わる課題であると考えています。この点においては、自らの経験と知見を活かし、より良い改善に向けて積極的に提言していきたいと考えております。

これまでの理学療法士および大学教員としての仕事から得た知識と経験を、理学療法士協会の活動に反映させ、理学療法士の専門性の向上と、地域社会への貢献を目指します。若い業界の将来を見据え、本協会の発展と次世代へのバトンパスに貢献できることを強く願っております。皆様のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

【協会・士会役員歴】

2022年～北海道理学療法士会 職能局 装具相談窓口設立事業
 2022年～日本支援工学理学療法学会 理事
 2023年～北海道理学療法士会 代議員

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【立候補の趣旨】

私は2018年より北海道理学療法士会の代議員、理事、常任理事として士会活動に携わってきました。2021年からは日本理学療法士協会の代議員を担っております。現在、そしてこれからの理学療法士を取り巻く環境は刻々と変化しており、学術・職能団体として様々な課題が累積していると考えます。特に今求められていることは、従来通りの運営や活動を行うことではなく、会員のために何をすべきか、どうあるべきかを今一度見直すことです。若手会員の退会や休会は年々増えております。士会活動に携わる若手会員も少ない現状にあります。日本理学療法士協会の理念はすべてのひとの健康と幸福を実現することを掲げています。内と外をしっかりと見ながら、日本理学療法士協会が理学療法士のため、そして全ての国民のための団体として活動していくよう一翼を担いたいと思う所存です。どうぞよろしく願いいたします。

【日本理学療法士協会活動歴・都道府県理学療法士（協）会活動歴】

2018～2019年 北海道理学療法士会 代議員
 2019～2020年 北海道理学療法士会 理事
 2021～ 北海道理学療法士会 常任理事
 2021～ 日本理学療法士協会 代議員



氏名 森山 武

都道府県士会 北海道

年齢 48

勤務先名称 市立函館病院



氏名 盛 雅彦

都道府県士会 北海道

年齢 62

勤務先名称 公益社団法人北海道理学療法士会

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

2003～2018年度 北海道理学療法士会 道南支部 役員
 2017～2020年度 日本理学療法士協会 がん理学療法部門 運営部員
 2019～2020年度 北海道理学療法士会 道南支部 支部長
 2021年度～ 日本がん・リンパ浮腫理学療法研究会（現学会）理事
 2021年4月～6月 北海道理学療法士会 道南支部 副支部長
 2021年6月～ 北海道理学療法士会 理事
 2021年度～ 日本理学療法士協会 がんのリハビリテーション研修会 運営委員
 2022年度～現在 日本理学療法士学会連合 財務委員
 第3回 道南理学療法士学術大会 大会長
 第27回 全道学術研修大会 第1回 道南理学療法士学術研修大会 大会長
 第72回 北海道理学療法士学術大会 大会長
 第4回 日本がん・リンパ浮腫理学療法研究会 学術大会 大会長
 第8回 日本呼吸理学療法学会 学術大会 準備委員
 第10回 日本予防理学療法学会 学術大会 準備委員長
 第7回 日本がん・リンパ浮腫理学療法学会 学術大会 準備委員長

北海道理学療法士会道南支部役員として約20年間活動し、2019年からは北海道理学療法士会理事として士会運営に携っております。活動の中心としては、協会員の平均年齢30代前半を踏まえた未来志向での意見や遠方地在住の視点での士会活動の提案等を行い、現体制からのさらなる発展に繋がるよう活動しております。また、日本がん・リンパ浮腫理学療法学会理事としての活動や日本予防理学療法学会や日本呼吸理学療法学会の学術大会運営委員の経験を踏まえ、と新生涯学習システムなどの観点から協会と士会ならびに学会連合との強固な連携が必要と感じております。学会連合での活動、士会活動にて培った知識、経験を踏まえ協会の運営、活動の発展等に貢献したく立候補させていただきました。ご支援のほど宜しくお願い致します。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【日本理学療法士協会の役員歴】
 2007年～2008年 社会局公益事業推進部部員
 2013年～現在 代議員
 【北海道理学療法士会の役員歴等】
 2007年～2018年 理事
 2009年～2017年 社会局長
 2017年 副会長
 2018年～現在 事務長
 【立候補の趣旨】
 地域包括ケア推進、訪問リハステーション設置、理学療法士の処遇向上など、理学療法士を取り巻く環境が厳しいため日本理学療法士協会が果たすべき役割は極めて重要であります。北海道士会事務局の職員としての立場でもあり、国政、厚生労働省や日本理学療法士協会の動向・方針を把握・共有することが重要であることから、立候補させていただきました。



氏名 信太 雅洋

都道府県士会 北海道

年齢 61

勤務先名称 北海道千歳リハビリテーション大学



氏名 小林 巧

都道府県士会 北海道

年齢 48

勤務先名称 北海道千歳リハビリテーション大学

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会役員歴】
 平成17～25年 学術大会部部員
 平成20年～現在 代議員
 平成20年 第43回日本理学療法士協会全国学術研修大会 準備委員長
 平成28年 第51回日本理学療法学会学術大会準備委員 副運営局長
 その他 ガイドライン委員会教育ガイドライン部会員、指定規則検討特別委員会委員
 学会システム委員会委員、職能関連業務執行委員会委員、役員報酬等委員会委員長

【士会役員歴】
 平成13・14年 学術局学術誌部長
 平成15・16年 学術局学術事業部長
 平成17～令和5年 理事
 平成19・20年 学術局長
 平成21年 副会長・学術局長
 平成22～24年 副会長・教育局長
 平成25～27年 副会長
 平成28～30年 副会長兼支部事業局長
 平成31年～令和5年 副会長
 令和4年～現在 政策提言委員

【立候補の趣旨】
 これまで私は上記のとおり、協会・士会の役員として活動しています。ここ数年は職能活動（政治活動）が活発化していますが、士会での活動にも連動して活動したいと考えています。したがって、協会の活動を把握し意見が言える立場である代議員に立候補いたします。何卒、お認め頂きたく宜しくお願い致します。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】
 平成15～16年 : 北海道理学療法士会学術局学会研修部員
 平成17～19年 : 北海道理学療法士会事務局総務・財務部部长
 平成20～24年 : 北海道理学療法士会事務局財務部部长
 平成25年 : 北海道理学療法士会事務局総務部部长
 平成25～31年 : 北海道理学療法士会事務・支部事業局付理事
 平成26年～現在 : 日本理学療法士協会代議員
 平成31年～令和2年 : 北海道理学療法士会理事 支部事業局長
 令和3年～現在 : 北海道理学療法士会理事 事務局長

【立候補の趣旨】
 私はこれまで約25年間北海道理学療法士会の活動を行ってきました。近年、理学療法士の急激な増加に伴って、理学療法士の質の維持・向上、職域拡大と組織力強化は重要な課題となっています。士会事務局の役割とは、会員の皆様が理学療法士としてさらに成長し、活躍できるように、しっかりと皆様をサポートすることだと思っています。そのためにも、日本理学療法士協会としっかりと連携を図ることは重要と考え、この度、代議員選挙に立候補致しました。



氏名 仲澤 一也

都道府県士会 北海道

年齢 43

勤務先名称 Do-Clinic 整形・運動器リハビリテーション



氏名 高橋 尚明

都道府県士会 北海道

年齢 54

勤務先名称 北海道医療大学

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

2014年 (公社)北海道理学療法士会 社会局 スポーツ支援部長
 2018年 スポーツ理学療法運営担当者 (北海道)
 2019年 (公社)北海道理学療法士会 健康スポーツ局 生涯スポーツ支援部長
 2023年 (公社)北海道理学療法士会 理事 (健康スポーツ局付け)

2020東京オリンピック・パラリンピックを経て、スポーツに理学療法士が携わることは、徐々に認知されてきていると感じています。同時に、理学療法士は大きなスポーツイベントなどの際に、その組織力をもって大きく寄与できると示すことができたと思います。その一方、スポーツやそのメディカルサポートにおいては、まだ十分な職域を確保できたとは言えず、教育体制や地域差においても課題があると感じています。

私は、2014年から北海道理学療法士会において、スポーツ支援に携わり、北海道マラソン、冬季アジア大会、オリンピック・パラリンピックなどのスポーツイベントに対する理学療法士の派遣調整に関わってきました。その中で、携わる理学療法士のレベルを担保するための教育研修も数多く企画開催し、ノウハウを蓄積してきました。

今後は、より現場で活動する理学療法士の拡大や、スポーツに関わる職域の拡大に対して、助力すべく立候補する次第です。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

2010年～ 日本理学療法士協会代議員
 2013年～ 北海道理学療法士会理事
 2021年～ 北海道理学療法士会常任理事

これまで北海道理学療法士会の中では、学術ならびに教育の領域で会員の皆様の生涯学習をサポートさせて頂いておりました。また、新指定規則によって臨床実習指導者資格が明確になった後は、北海道内の臨床実習指導者養成に関わらせて頂いております。卒前教育が大きく変わるとともに新生涯学習システムも大きく変化しました。その様な中で、会員の皆様が生涯学習をより円滑に進めていくためには、会員の皆様のご意見を基にしたサポートシステムが必要だと考えております。

この度、北海道士会会員の皆様の声を協会に届けるべく、協会代議員に立候補をさせて頂きました。どうぞよろしくお願い致します。



氏名 箭内 一浩

都道府県士会 北海道

年齢 39

勤務先名称 北星記念病院



氏名 杉原 俊一

都道府県士会 北海道

年齢 54

勤務先名称 札幌秀友会病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【士会役員歴】

平成21年～平成25年	北海道理学療法士会道東支部	社会部部长
平成25年～平成27年	北海道理学療法士会道東支部	社会部部长
平成27年～平成31年	北海道理学療法士会道東支部	職能部部长
令和元年～令和2年	北海道理学療法士会	道東地区理事
令和2年～現在	北海道理学療法士会	理事

【立候補趣旨】

この度、日本理学療法士協会 代議員に立候補いたしました箭内一浩と申します。私はこれまで10年間、道東支部役員で様々な事業責任者として活動して参りました。現在は、北海道理学療法士会職能局付理事として管理者育成推進部、職域事業部、地域包括ケア推進部の活動に関わらせていただいております。

日々の活動を通し、職能団体としてどのように住民の健康や安心に寄与できるか、常に考えております。少子高齢化が進み、生産年齢人口も減少すると推計され、現在の医療や介護サービスの提供が困難になる社会が目前に迫っています。その中で、目の前の対象者はもちろん、自らの身体を自身で管理できる方々を直接的にサポートすることや、専門職が希薄な地域に対して多職種連携を通し間接的に住民や地域への関与することなど、我々が「すべきこと」「やらなくてはいけないこと」は幅広く終わりはありません。これらの課題に対し本気で取り組まない限り、専門職としての価値はないと考えます。

理学療法士としての知識と経験もまだまだ足りませんが、吸収できる容量の大きさと走り続けられる体力が私の武器です。住民に対し理学療法士として向き合うためにも、日本理学療法士協会の代議員として学ぶだけではなく、日本理学療法士協会の発展に寄与したいと思い、立候補させていただきました。何卒ご支援をどうぞよろしくお願い致します。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】

平成17年4月～	(社)北海道理学療法士会	理事
平成25年6月～	(公)北海道理学療法士会	常任理事
平成30年7月	北海道理学療法士学術大会	大会長(創立50周年記念事業)
令和1年6月～	(公)北海道理学療法士会	副会長
令和5年10月～	(公)日本理学療法士協会	代議員ネットワーク検討部会委員

【立候補の趣旨】

現在は副会長を拝命し、様々な領域の職能団体と接することで、地域包括ケアシステムの参画のみならず、災害支援、医療介護DX等、理学療法(士)の役割の重要性が高まっています。

2040年を展望した医療提供体制を取り巻く状況は、超高齢化・人口急減の到来が加速し、医療従事者の人材確保の課題に加え、急性期医療ニーズが大きく変化、多くの地域で今後在宅患者数が増加すると予想されており、地域単位での体制整備が求められています。更に我々を取り巻く社会環境の変化は全世代に影響しており、地域共生社会の実現に向け、多様性を受け入れ世代の垣根を超えた議論を行い、合意形成する作業が重要になっていると考えます。多様性はダイバーシティとも表現されますが、「ダイバーシティ」は、「相違点」と訳されることも多く、自身が持っている情報、知識や技術、立場、背景や文化、価値観等、差異のあるものどうしがコミュニケーションにより差異をすり合わせ、実践する共同体における情報の共有や、共存・協働作業を通じ、双方が納得する意思決定(合意)を実現することが重要と考えます。

「多様性」を受け入れるためには、「差異(相違点)を無くす」のではなく、「差異のあるものどうしが、協働し、共存すること」を目指し、ただ繋がるのではなく、差異や相違点を受け入れ、共通目標に向かっていく協会運営が必要ではないでしょうか。情報共有による対話を通じて協会と士会(会員)の相互理解を進め、双方の活動が有機的なものになるよう、代議員として立候補致しました。



氏名 佐藤 義文

都道府県士会 北海道

年齢 52

勤務先名称 札幌溪仁会リハビリテーション病院



氏名 大野 大地

都道府県士会 北海道

年齢 36

勤務先名称 フィールドクルーズ

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

<協会・士会 役員歴>
 平成15年～平成21年、北海道理学療法士会札幌支部 事務局
 平成21年～令和3年、北海道理学療法士会札幌支部 支部長
 平成27年～、日本理学療法士協会 代議員
 令和2年～令和3年、日本理学療法士協会 登録理学療法士制度委員会 副委員長
 令和2年～、日本理学療法士協会 全国都道府県士会 学校保健・特別支援教育担当
 令和5年～、北海道理学療法士会理事健康スポーツ局長

<協会・士会 学術大会役員歴>
 平成20年、日本理学療法士協会北海道ブロック第59回学術大会 準備委員長
 平成21年、日本理学療法士協会北海道ブロック第60回学術大会 副大会長
 平成27年～令和3年、第1回～第7回札幌理学療法学術大会 大会長
 令和2年～、日本理学療法士学術大会 認定理学療法士（内部障害）症例審査委員

令和3年、日本理学療法士協会
 「学校保健・特別支援教育における理学療法士による介入支援」全国事例集執筆

<趣意>
 2023年より北海道理学療法士会理事に復帰、健康スポーツ局を拝命しております。既存の活動に加え、「学校保健等の調査事業」「バラスポーツ支援の拡大」「女性アスリート講習企画」等、理学療法士会員の活動領域の拡大や社会貢献を進めております。日本理学療法士協会としては、学校保健・特別支援教育担当会議や、全国事例集執筆を通じて、札幌市教育委員会との共働事例等を紹介。このたび認可された、認定スクールトレーナーの推進・援助も行っていきたいと思っています。また、協会国際事業課への協力として、デンマークVIA-univ.の学生研修の受け入れを実施しています（2023年2～3月に2人、7～8月に2人）。2024年も研修生受け入れ予定引き続き、理学療法士の国際交流の点でも、協力していきたいと思います。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】

- ▶2017年4月～2022年3月
 （公社）北海道理学療法士会 職能局 職域事業部 復職支援事業
- ▶2018年4月～2021年3月
 （公社）北海道理学療法士会 職能局 職域事業部 職能に関する情報提供事業
- ▶2020年4月～2023年3月
 （公社）北海道理学療法士会 職能局 職域事業部 会員動向把握事業
 （2021年4月～2023年3月 事業責任者）
- ▶2022年4月～2023年6月
 （公社）北海道理学療法士会 職能局 管理者育成推進部
- ▶2023年6月～現在
 （公社）北海道理学療法士会 理事

【立候補の趣旨】
 我が国日本は世界一の長寿国である。医療・介護・福祉サービス、フレイル対策、疾病予防、健康増進へのニーズはより一層求められると考える。また、長寿先進国としてチャレンジしていかなければならない。住み慣れた地域に住む方々の支援を効果的に進めるべく、多職種やインフォーマルサービスとの連携はもとより、まず理学療法士が一丸となってネットワークを活かし情報交換を行い、フィールドを超えてサポートできる体制作りが必要であると考えます。理学療法士は、一士業として地域の様々な課題に応える知恵があり、その提供形態や職域は多様化しつつある。こうした現状を踏まえ、理学療法士の将来に貢献したく立候補する。



氏名 加藤 良和

都道府県士会 北海道

年齢 40

勤務先名称 手稲溪仁会病院



氏名 梅本 かほり

都道府県士会 北海道

年齢 45

勤務先名称 さっぽろ病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

2009年4月～2010年10月 北海道理学療法士会札幌支部 事務局
 2010年6月～2018年6月 北海道理学療法士会 代議員
 2010年11月～2012年3月 北海道理学療法士会札幌支部 職能部長
 2012年4月～2019年4月 北海道理学療法士会札幌支部 事務部長
 2019年6月～2021年6月 北海道理学療法士会 札幌地区理事
 2020年4月～2022年3月 北海道理学療法士会 管理者ネットワーク推進特別委員会 委員
 2021年6月～2023年6月 北海道理学療法士会 理事（学術・教育局局付け理事）
 2023年6月～現在 北海道理学療法士会 理事（支部事業局局付け理事）

私はこれまで北海道理学療法士会において札幌支部事務部長を中心に支部役員として約10年間、札幌地区理事として1期2年間、学術・教育局局付け理事として1期2年間、そして現在は支部事業局局付け理事として活動して参りました。支部や士会の役員を務めさせていただくなかで、協会と士会は双方向に連携をとり一体的な組織運営体制を構築していくことが重要と感じています。また国民の健康を守るために日々現場で活躍しているのは会員であり、会員目線の組織運営のためには、地域の会員からの声を把握すること、そしてその声を協会に届けていくことが必要です。

支部事業局局付け理事として活動させていただくなかで、全道各支部の会員との意見交換の場にも参加させていただきました。地域における臨床現場の実情や組織運営体制へのご意見など会員からの声を把握し協会に届けていくことで、日本理学療法士協会の会員目線の組織運営ならびに職能団体としての更なる発展に寄与できるものと考えております。今回、北海道理学療法士会会員の代表として、日本理学療法士協会の組織運営の一端を担わせていただきたく立候補させていただきました。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

北海道理学療法士会役員歴
 2005～2006年 学術局学会研修部員
 2010～2013年 教育局教育部員
 2013～2015年 学術・教育局局付け理事
 2015～2019年 社会・職能局付け理事
 2019～2021年 社会・職能・健康スポーツ局局付け理事
 2021～2023年 健康スポーツ局長
 2023年～現在 健康スポーツ局障がい者スポーツ支援部員

北海道理学療法士会では、現在健康スポーツ局障がい者スポーツ支援部員をさせて頂いております。これまでの理事として関わってきた仕事を一部継続し活動しています。日本理学療法士協会ではこれまで北海道選出の代議員として、4期8年つとめてまいりました。北海道の役員もそうですが、日本理学療法士協会の代議員も女性の割合が極端に少ないことが目立ちます。女性会員の割合は全体の4割程度ですが、各都道府県の女性代議員は1割もないのが現状です。前回の改選で女性代議員が不在となった県も多くあります。女性会員の意見も反映させて頂けるように、北海道の代議員として立候補させていただきます。



氏名 鈴木 智博

都道府県士会 北海道

年齢 44

勤務先名称 医療法人翔陽会介護サービスセンターこうよう



氏名 齊藤 浩平

都道府県士会 北海道

年齢 44

勤務先名称 森山メモリアル病院指定訪問リハビリテーション事業所 東出張所

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

- H25 北海道理学療法士会 空知支部北地区幹事
- H29 北海道理学療法士会 空知支部長
- R3 北海道理学療法士会 理事（空知）および空知支部長

H29 第26回北海道理学療法士会全道学術研修大会 準備委員長

これまで支部長、地区選出の理事として北海道理学療法士会の運営に携わってまいりました。今後はより一層地方からの声を協会および多くの会員に届けたいと思い、立候補させて頂きました。どうぞよろしく願いいたします。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

- 2011年～2014年（公社）北海道理学療法士会 道北支部会計部員・部長
- 2014年～2020年（公社）北海道理学療法士会 代議員
- 2015年 第66回北海道理学療法士学術大会 財務部長
- 2015年～2020年（公社）北海道理学療法士会 道北支部副支部長
- 2019年 第3回道北理学療法士学術大会 準備委員長
- 2021年～（公社）北海道理学療法士会 理事兼道北支部長
- 2021年 第29回全道学術研修大会・第2回道北支部学術研修大会 大会長
- 2022年 第73回北海道理学療法士学術大会 準備委員長

この度、公益社団法人日本理学療法士協会の代議員に初めて立候補することを決意しました、齊藤浩平と申します。これまで10数年にわたり北海道理学療法士会道北支部の役員を務め、また学術大会などの運営にも携わらせていただきました。理学療法士の取り巻く環境が大きく変化している中、これまで以上に協会と都道府県士会の連携が重要だと考えています。若い世代の方々に理学療法士という仕事のやり甲斐や奥深さ、社会的意義を実感してもらい、協会・士会の魅力を伝え、より良い組織づくりに貢献していきたいと考えております。



氏名 表 亮介

都道府県士会 北海道

年齢 45

勤務先名称 市立札幌病院



氏名 柿澤 雅史

都道府県士会 北海道

年齢 60

勤務先名称 札幌医科大学附属病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

2021年 北海道理学療法士会札幌地区理事・支部長
2023年 第74回北海道理学療法士学術大会大会長

北海道札幌で支部会員の現場の問題課題を学び共有してきました。全国の皆さんと共に協力し現場の意見を伝え反映していきたいと考えております。ご協力のほど宜しくお願い致します。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成13年～平成16年度 (社)北海道理学療法士会 理事 財務担当
平成17年～平成22年10月 (社)北海道理学療法士会 理事 事務局長
平成22年11月～平成30年3月 (公社)北海道理学療法士会 理事 事務局長
平成30年4月～令和元年6月 (公社)北海道理学療法士会 理事 副会長 事務局長
令和元年6月～令和3年6月 (公社)北海道理学療法士会 理事 副会長
令和3年6月～令和5年6月 (公社)北海道理学療法士会 理事 会長
令和5年6月～令和5年7月 (公社)北海道理学療法士会 理事 副会長
令和5年7月～ (公社)北海道理学療法士会 理事 会長
平成19年～平成23年度 (社)日本理学療法士協会 代議員
平成24年～令和5年度 (公社)日本理学療法士協会 代議員
平成25年～平成26年度 (公社)日本理学療法士協会 組織率向上特別委員会 委員
令和2年～令和3年 (公社)日本理学療法士協会 新組織検討委員会 委員
令和5年～ (公社)日本理学療法士協会 議事運営委員会 委員

私たちを取り巻く環境は変化し、今後、供給が需要を上回る中、大量に養成される理学療法士が安定的に働いていける職域を確保することは重要な役割であります。自分たちの職業に対し、誇りを持ち、研鑽し続け、地域共生社会の中で、所属施設はもとより、広く社会から求められる存在になること、それに応えられる高い質を担保することが必要です。診療報酬や介護報酬に裏打ちされる、給与面をはじめとした労働環境が、更に改善することが期待されますが、これには、日本理学療法士協会、都道府県理学療法士会が引き続き、協同して、行動していかなければなりません。士会からの要望や地域の課題を伝え、全国に共通する問題に対し、共に取り組むことで、個々の理学療法士が今後も尊厳を持って業務に専心していけるよう、代議員として、協会運営、意思決定において責務を果たしていきたいと思っております。